2023 年 7 月 17 日

2024 年度入学生のパソコン必携に関する基本方針

東京都市大学では、「東京都市大学における全学生を対象とした数理・データサイエンス教育基本方針」に基づき、全学部の入学生が数理・データサイエンス基礎教育を修得することとなっており、コンピュータやインターネットを活用した AI の基礎学習やビッグデータ解析などの体験的学習、e ラーニング教材による自己学習などを実施しています。

また、各学部での情報教育や講義、演習、実験科目におけるレポートの作成、ゼミでの発表、卒業論文の作成などのほか、大学からの情報を提供するためのポータルサイトや在学中に身につけた力を見える化するシステムの TCU Force、学習支援システムの WebClass など、本学では多くの場面において情報システムを活用しており、今後の高等教育機関において不可欠である DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進にも不可欠であるためパソコン必携となっています。

この文書は、2024 年度入学生のパソコン必携に関する基本方針を定めたものです。本学に入学される方は事前に内容を確認した上で、学内での利用に対応できるよう、持参可能なパソコンを授業開始に間に合うように準備してください。

なお、年度ごとの基本方針は、主幹部署である情報基盤センターが入学前年の 10 月までに決定しますので、必ず自分の入学年度の記載内容を確認してください。

パソコンの基本要件

- 大学基本スペック
  - 卒業までの 4 年間使用することを想定した仕様を示します。学科推奨モデル（後述）以外を購入される場合はこちらを参考にしてください。ただし、学科によって異なる仕様を決めている場合は次項に示しますのでそちらを参照してください。学科固有スペック（後述）を確認せずに自己判断で購入をしてしまい、授業開始後にトラブルが生じるケースも報告されているので、必ず確認をしてください。また、Microsoft Office(Word、Excelなど)のように大学が包括契約を結んでいるアプリケーション（後述）などは購入する必要がありませんのでご注意ください。
    - CPU：PassMark スコア※ 5000 以上
    - メモリ： 8 GB 以上
    - 記憶装置：240 GB 以上（SSD が望ましい）
    - ディスプレイ：11 インチ以上
    - ネットワーク：無線/有線 LAN
    - カメラ：内蔵または外付け
    - 周辺機器用コネクタ：USB、HDMI、イヤホン・マイク端子
（変換コネクタ等により上記端子への接続に対応できれば可）
    - 周辺機器：マウス、ヘッドセット
    - 本体サイズ：毎日大学に携行できる程度（1kg 以下）

- ✧ OS：Windows 10 以降（学科固有スペックで認められている場合を除き、Mac OSや Chrome OS は非推奨）

※PassMark スコア：豪 PassMark Software 社が公開している CPU の処理能力を示す指標の1 つで、快適に利用するには 5000 以上が望ましいとされています。（https://www.cpubenchmark.net/cpu_list.php や https://pcrecommend.com/cpu/などで検索可能）

- ➢ 既にパソコンを所有している場合、次の要件を満たしていればそのまま使用して構いません。但し、学科固有スペック（後述）が決まっている場合は、そちらの指示に従ってください。また、性能不足だと感じる場合は買い替えを検討してください。
  - ✧ 大学に携行することができること
  - ✧ 無線/有線 LAN でのインターネット接続ができること
  - ✧ Word、Excel などのオフィスソフトを問題なく使用できること（ソフト自体は大学の包括契約による導入が可能なので保有していなくても良い）
  - ✧ Windows が使用できること
    - ● Mac の場合は、大学の包括契約により Windows の導入が可能なので、純正の BootCamp やその他の仮想化ソフトウェアを用いて使用できるようにしてください。なお、2023 年 2 月に M シリーズ（Apple シリコン）搭載モデルについても、仮想化ソフトウェアの Parallels Desktop 環境で Windows11（Proと Enterprise）を実行することを承認したことが Microsoft 社から発表されています。
    - ● タブレットなどの場合は、本学内のパソコンを遠隔操作できるシステム（遠隔デスクトップ）で対応できる可能性があります。
  - ✧ その他、パソコンのスキルが十分にあり、自分で様々な対応が可能な場合は、上記の制限にこだわる必要はありません。（この場合、授業担当教員によるサポートは基本的にできません）
- ➢ パソコンの仕様ではありませんが、インターネットを用いた教材配信などに対応できるように、自宅でのインターネット接続環境が不可欠です
  - ✧ 通信量の制限がないインターネット接続環境を確保するようにしてください。
  - ✧ 無制限が難しい場合は、月々50GB 程度の通信量を大学の学修活動に使用する可能性があることを想定しておいてください。
  - ✧ 自宅内で無線 LAN の電波状態が悪い場合などは有線 LAN ケーブルを使用するなども検討してください。

- ● 学科固有スペック
  - ➢ 以下の学科では大学基本スペックと異なる仕様を定めています。詳細については各学科からの情報を確認してください。特に情報工学部情報科学科は専門教育で Linux と Windows のデュアルブートが不可欠（仮想化は不可）となりますので注意し

てください。また、Mac や Chrome については一部の学科を除いて推奨されていませんので十分に注意してください。

- ✧ 理工学部機械工学科
- ✧ 理工学部機械システム工学科
- ✧ 理工学部自然科学科
- ✧ 建築都市デザイン学部建築学科
- ✧ 情報工学部情報科学科
- ✧ 情報工学部知能情報工学科
- ✧ 都市生活学部都市生活学科
- ✧ デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科

- 入手期限
  - ➢ 入学年度の授業開始日には使用が開始できるように、遅くとも入学前には手元に入手しておいてください。
  - ➢ 学科によっては、オリエンテーション期間中に使用する場合がありますので、各学科からの情報も必ず確認してください。
- 学科推奨モデルの販売
  - ➢ 学科ごとに指定された推奨モデルの販売を、2 月中旬より大学指定業者が取り扱います。なお、購入時期が遅れると納品が入学後となる場合があります。（一部、対応の異なる学科がありますので、学科の指示に従ってください）
  - ➢ 学科推奨モデルは通学時の携行などを考慮して、在学期間に対応できる 4 年間の拡張保証の契約が含まれており、故障、破損への対応や修理中の代替機貸し出しなどが保証されています。（情報工学部情報科学科モデルについては学科の情報を参照）
  - ➢ 製品概要や金額などは入学前年の 12 月までに決定し、入学手続要項でお知らせします。
- セキュリティ対策の実施
  - ➢ 新たにパソコンを購入する場合も既存のパソコンを使用する場合も、必ずセキュリティ対策を行ってください。
  - ➢ 本学では特定のセキュリティ対策ソフトの導入は求めていませんので、Windows の場合は標準の Defender でも構いません。
  - ➢ セキュリティ対策を行っていないパソコンを本学のネットワークに接続することは、別に定める情報セキュリティポリシーに違反します。

大学での活用

- 教育上の活用
  - ➢ 下記に示したような多くの科目・教育活動の中で活用されており、シラバス（授業計画）にも明示しています。
    - ✧ 数理・データサイエンス科目
    - ✧ 情報教育、語学教育

        - 学科専門科目
        - 卒業研究、事例研究、フィールドワーク
        - その他、多くの科目におけるメディア授業
    - 授業資料の配布や課題提出、質問対応などを行うことができる授業支援システム WebClass がすべての科目で活用されています。
- 学務上の活用
    - 履修登録や出席確認、キャリアデザインなどの様々な情報システムを利用する際に活用されています。
        - ポータルサイト
        - 履修登録・確認、成績確認
        - 出席確認システム
        - 学生カルテ
        - TCU-FORCE
        - 情報セキュリティポリシー自己点検
        - 遠隔デスクトップシステム

初期設定・導入教育

- 大学固有の設定情報提供
    - 大学での利用には、個人利用とは異なる設定が必要となる場合がありますので、必ず情報基盤センターから提供される設定情報を確認してください。
    - 学科固有の設定については、各学科からの情報を確認してください。
- 初期設定教材の提供
    - 大学で提供するソフトウェアのセットアップ資料教材や各種情報システムの利用方法の説明教材を提供します。
    - 学科推奨モデル購入者向けには、メーカーからセットアップ動画教材や講習会（各キャンパス 1 回）が提供されます。（情報工学部情報科学科モデルについては学科の情報を参照）
- 初年度情報教育での導入教育
    - 初年度情報教育科目において、基本的なセットアップの確認や不明点の説明などを行うとともに、大学の授業で活用していくために必要となる基本的な操作方法などについて学びます。

サポート体制

- 包括契約によるソフトウェアの提供
    - 本学では以下のソフトウェアの包括契約を結んでおり、各自で購入することなく使用することが可能です。
        - Microsoft Office（Word,Excel,PowerPoint,Access など）
        - MATLAB（数値解析ソフトウェア）
        - ChemDraw（化学構造式可視化ソフトウェア）

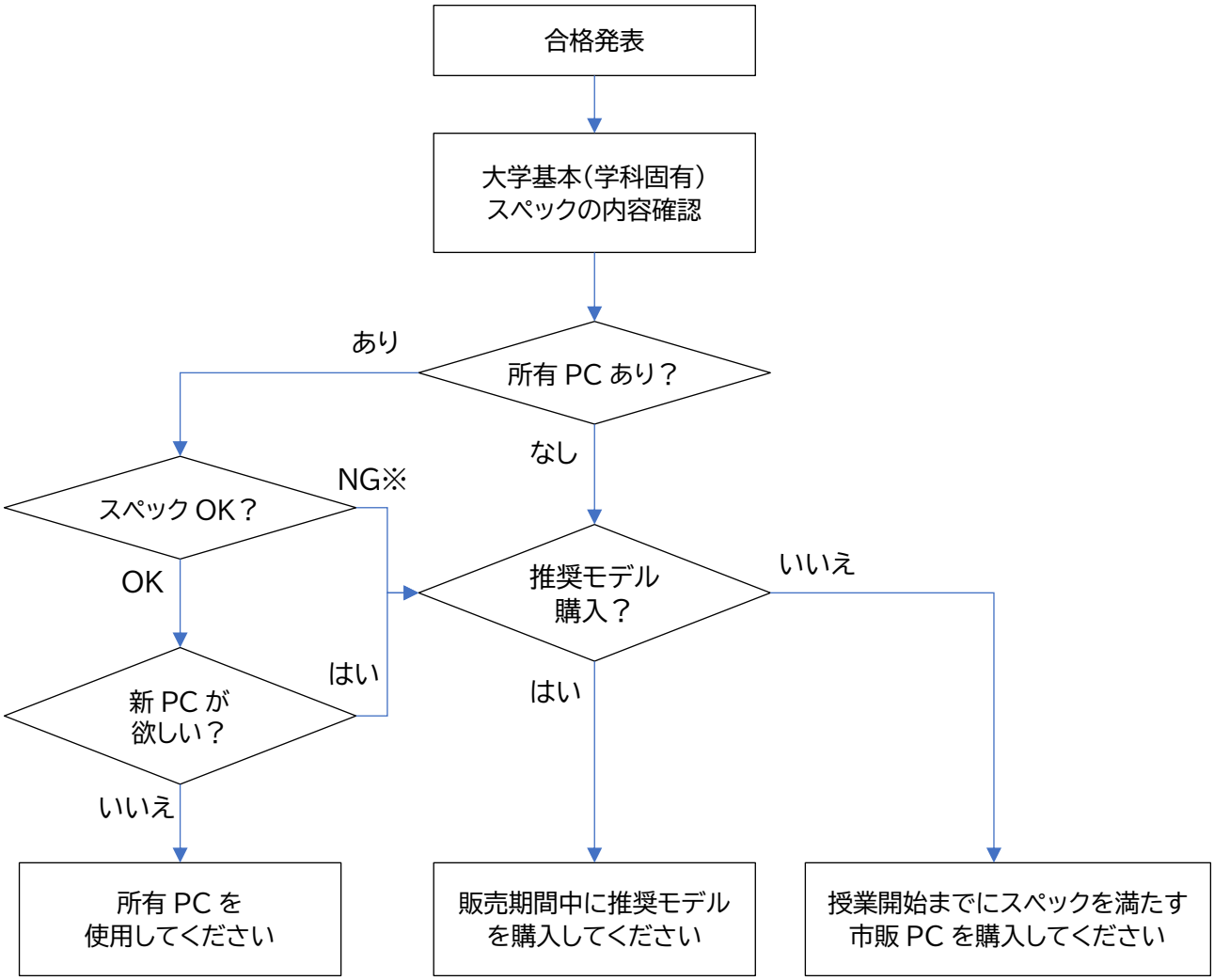
- 学科による支援
  - 各学科にパソコンに関する相談を受け付ける教職員や学生支援員がおり、購入時や困ったときなどにサポートを受けることができます（情報工学部情報科学科のLinuxのサポート対象は学科推奨モデルのみ）。詳細については各学科からの情報を確認してください。
- キャンパスショップでの対応
  - 学科推奨モデルについては、故障や破損した場合はキャンパスショップに持ち込んでの修理依頼が可能です。また、修理が完了するまでの期間、代替パソコンが無料で提供されます。（情報工学部情報科学科モデルについては学科の情報を参照）
  - 希望すれば、誰でも学科推奨モデルと同等のパソコンを 1 日単位で貸し出し（有料）します（情報工学部情報科学科モデルについては学科の情報を参照）。うっかり忘れてしまった場合などにも対応できます。（台数制限があります）
- 学生団体による支援
  - 各キャンパスや学科などに有志学生による支援組織があり、授業での活用方法などについても相談をすることができます。
- 情報基盤センターによる支援
  - パソコン必携の主管部署として、学生サポーター（PC サポーター・ISA 等）や職員による必携パソコンの支援を行います。
  - 主な支援内容は、パソコン不具合に関する一次切り分け、パソコン操作等に関する支援、情報基盤センター提供のソフトウェア・サービスの利用に関する支援です。
    - 支援を受ける場合は情報基盤センターに来室（パソコン持ち込みなど）してください。
    - 科目で独自に使用しているソフトウェアなどについては、まず初めに科目担当教員に相談をしてください。
    - 質問や修理依頼の際にメーカーとの仲介をするなどの対応は行えません。
    - 学科ごとに事情が異なるため、購入に関する相談への対応は行えません。
    - 大学基本スペックとしてなっている Windows 以外の OS については、支援できない場合もあります。
  - 必携パソコンに関する情報提供や情報共有のためのサポートページを開設します。

問い合わせ先

- 学科ごとの担当教職員
  - 各学科で担当教職員が必携パソコンについて対応をしています。詳細については各学科からの情報を確認してください。
- 情報基盤センター
  - 各キャンパスの情報基盤センターでは、ホームページの必携パソコン専用「お問い合わせ」ページや、学生サポーター（PC サポーター・ISA）専用カウンターでの問い合わせ対応をしています。

以上

パソコン準備までの流れ



※自己判断でスペックが満たしていない所有 PC を使用する場合、授業開始後に性能不足と判断された時点で速やかにスペックを満たす PC を用意してください。特に情報工学部情報科学科は特別仕様のため、学科の情報をよく確認してください。

パソコン準備 Q＆A
（情報工学部情報科学科は特別仕様のため、これらに該当しません。不明な点がある場合は、情報科学科ノート PC 担当にお問い合わせください。）

Q　既にパソコンを持っているのですが、購入しなければいけないのでしょうか？
A　大学共通スペックや学科指定スペックなどの要件を満たしているパソコンであれば、購入せずにそのまま使用していただいて問題ありません。但し、授業の時に持参できないデスクトップ型や重たくて持参するのが大変なパソコンの場合は、要件を満たすものを新しく用意してください。
なお、大学共通スペックや学科指定スペックなどの要件を満たしていないパソコンについても、自己判断でそのまま使用いただくことが可能ですが、授業開始後に性能不足だと判断される場合は、速やかに要件を満たすパソコンを用意してください。

Q　家族の共有パソコンでも良いですか？
A　授業で必要なソフトなどの導入（インストール）を自由に行ったり、自分の使いたいときに自由に使えるものであれば、特に問題はありません。

Q　Mac でも良いですか？
A　大学では Windows を主に使用していますので、授業時に必要なソフトが使えなかったり、操作方法の説明を受けられないなどの可能性がありますので、自分で操作方法がある程度分かっているようであれば、使用していただいて構いません。なお、大学がマイクロソフト社と結んでいる契約がありますので、VirtualBox などの仮想化ソフトなどで Windows を実行可能にしたり、大学の遠隔デスクトップシステムを使用することで、Mac 上で Windows を操作することも可能です。（遠隔デスクトップシステムはネットワークの状況が悪いと操作性が落ちたり、接続が切れてしまうことがあります）

Q　iPad などのタブレットでも良いですか？
A　大学の多くの授業ではマイクロソフト社の Office（Word、Excel、PowerPoint など）を使用するので、キーボードが無かったり、機能制限を受けるようなタブレットについては、使用することを勧めません。大学の遠隔デスクトップシステムを使用することで、Windows を操作することも可能ですが、操作しづらいと感じる場合は要件を満たすパソコンを用意してください。（遠隔デスクトップシステムはネットワークの状況が悪いと操作性が落ちたり、接続が切れてしまうことがあります）

Q　推奨パソコンを購入した方が良いですか？
A　大学共通スペックや学科固有スペックなどの要件を満たしてれば、市販のパソコンで問題ありません。推奨パソコンは、学内に修理の窓口があり、4 年間の拡張保証が付

いているなどのメリットがあります。価格面では市販のパソコンより高めですが、同等モデルを量販店などで購入する場合と比較すると、有利だと思います。

Q　Word や Excel などは必要ですか？

A　多くの授業でこれらのソフトを使用するので必要だと考えてください。なお、大学では Microsoft 社との包括ライセンス契約を結んでおり、在学中はこれらのソフトを無償で利用することが可能（在学しなくなった場合は削除が必要）ですので、別に購入したり、導入済みのパソコンを購入する必要はありません。

Q　ウイルス対策ソフトは必要ですか？また、何か決まっているものがありますか？

A　大学では特に特定のウイルス対策ソフトの指定はありませんが、本学の情報セキュリティポリシーに基づいて、必ず対策を実施することを求めています。Windows の場合は、標準の Defender でも構いません。

Q　パソコンの購入について相談をしたいのですが？

A　各学科で相談窓口を設けていますので、そちらに相談をしてください。なお、推奨モデルについては販売サイトに用意されている相談窓口をご利用ください。